

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373600168
事業所名	グループホーム ジョイフル江南

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	ハウスマネージャーが窓口となり区長より地域情報を得ている。地域の小学校での運動会やミカン狩り、作品作りに参加したり、こども110番も受託している。法人合同の運動会では家族と共に多くの地域住民の参加がある。認知症の理解を深めるため夏にはサポーター講座を開催し、季刊で地域版ホーム便りを発行している。月1回エリア全体で施設周辺の清掃活動に参加し、地域との顔馴染みの関係作りに努めている。地域の定期的なボランティアの訪問でハーモニカや歌、読み聞かせを楽しんだり、中学生の職場体験、専門学校の実習生も受け入れ、地域との交流が図られている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	年6回、市担当者、地域包括支援センター、地域代表、入居者代表、家族代表が参加して開催されている。事業報告、事故や行事報告、ホームの状況、結果ができれば外部評価の報告も行ない、意見や提案、疑問点にはきちんと対応している。更なる助言者としてかかりつけ医や消防署等有識者の参加を打診中であり、地域住民との繋がりを強化を目指している。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	市の要請で高齢者生きがい課への事故報告、運営推進会議の報告等を行っている。何かあれば双方がまず電話を利用し、連携を図っている。疑問点があれば確認し、台風時には市から様子伺いがあった。市主催の講座があれば参加したいと考えており、地域包括支援センターとも協働している。市内には合計5つのグループホームがあり、尾張北部グループホーム協会に加入し、交流や意見交換を行っている。	○
重点項目		評価
	家族会はないが、年2回満足度調査を実施し、出された意見は話し合いの後、改善できる点は直ぐに実行している。面会や電話での個人的な話はハウスマネージャーが対応している。本人の「つぶやき」はパソコン入力し、期間毎に検討結果を記載し玄関に開示している。内容を家族に伝え、家族の返答を直接本人に伝えることで納得され解決したケースもある。毎月発行のホーム便りには、数多くの日常や行事の写真、担当職員からのコメント、次月の予定等の記載があり、家族の安心へと繋がっている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
	総合評価	○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。